



2021年8月24日

各位

会社名株式会社オプトラ
代表者名代表取締役社長執行役員 林 為 平
(コード番号：6235 東証第一部)

問い合わせ先 取締役執行役員 山田 満男
経営管理部長
(TEL. 03-6635-9487)

業績予想の修正に関するお知らせ

弊社は2021年8月24日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2021年2月12日に公表いたしました2021年12月期の連結業績予想について、下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

2021年12月期連結業績予想数値の修正（2021年1月1日～2021年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	38,100	9,000	9,000	7,000	162.90
今回修正予想 (B)	30,300	6,800	7,100	5,600	130.02
増減額 (B-A)	△7,800	△2,200	△1,900	△1,400	—
増減率 (%)	△20.5	△24.4	△21.1	△20.0	—
(参考) 前期連結実績 (2020年12月期)	37,491	8,628	8,609	6,796	159.05

(修正の理由)

世界的な半導体不足や新型コロナ蔓延等により、世界マクロ経済への影響が継続し、弊社顧客の設備投資需要は当初想定を下回っており、弊社装置売上高が、想定より下振れし減収の見通しです。今後、スマートフォン・ミニLED・車載機器が主導し、装置需要は回復の可能性はありますが、半導体供給や新型コロナの収束状況次第でもあります。

また、売上高の下方修正に伴い、販売管理費の効率的な支出を一層徹底することとし、研究開発費を除く全ての販売管理費予算を見直し、国内外全拠点において、当初予算比で10%弱の経費節減を、2021年度末までに行うことといたしました。

新型装置につきましては、2021年度計画で、売上高の30%程度を目標といたしましたが、現在までのところ目標比率を上回る実績比率となっております。ALD装置・水平スパッタ装置を中心として、拡販に努めており、全体の原価率改善に相当の貢献をする見込みです。

研究開発費につきましては、当初予算31億円を維持いたします。弊社は研究開発型企業として、世界市場への高度成膜技術を反映した新型装置開発を継続しております。2021年を光学薄膜技術の顕著な高度化や、半導体関連で光学薄膜的な新たな成膜技術の実用化開発の年と位置付けており、必要な研究開発は一切そのペースを落とさず、加速して取り組んでまいります。この結果が、ミニLED成膜装置、車載機器成膜装置、スマートフォン関連3D技術応用の高機能成膜装置、5G対応の光通信成膜装置、ヘルスケア分野でのバイオセンサー開発等で、今後の成果として発揮されると見込んでおり、2022年以降の事業進展に貢献するものと思われまます。

なお、期末配当予想につきましては、1株当たり50円に変更はございません。

以上